

- 問1 室町幕府の3代将軍で、中国の明（みん）との貿易を行い、京都の北山に金閣を建てた人物はだれですか。
- 問2 書院造の具体的な特徴として、ふすまや障子、畳などが使われていることがあげられますが、これは現代の何のもとになったものですか。
- 問3 鎌倉時代に広まった、わかりやすい教えを持ち、武士や農民の間に広がった仏教のことを何と呼びますか。
- 問4 室町文化において、茶の湯や生け花が単なる楽しみ以外に大切にされていたのはなぜですか。
- 問5 鎌倉時代の力強い文化を代表する彫刻である金剛力士像は、どこのお寺の南大門にありますか。
- 問6 源頼朝が鎌倉に開いた、武士の政権を何といいますか。
- 問7 源頼朝が置いた「地頭」は、どのような場所に置かれましたか。
- 問8 14世紀に、足利尊氏（あしかがたかうじ）が京都に開いた幕府を何といいますか。
- 問9 室町時代から戦国時代にかけて見られた、実力のある者が、上の身分の者にとって代わる動きや風潮のことを何といいますか。
- 問10 北条時宗が元軍との戦いに備えて、守りを固めるために武士たちに築かせたものは何ですか。
- 問11 鎌倉時代に始まった二毛作は、主に日本のどの地域で行われましたか。
- 問12 室町時代に広まった「下剋上」とは、どのような動きや風潮のことですか。
- 問13 鎌倉時代に、吉田兼好（兼好法師）によって書かれた随筆は何ですか。
- 問14 源頼朝が鎌倉幕府を開いてから、鎌倉幕府がたおれるまでの約140年間のことを何といいますか。
- 問15 室町時代に始まった「狂言」とは、どのような劇ですか。
- 問16 源平の戦いのようすを描いた、中世に作られた有名な物語は何ですか。
- 問17 浄土真宗（一向宗）の信者たちが、みんなで団結して起こした一揆のことを何といいますか。
- 問18 足利義政が将軍だったころ、京都で大きな戦乱が起こり、町が荒れてしまいました。この戦乱を何といいますか。
- 問19 源頼朝が国ごとに置いた役職で、御家人の取りしまりや軍事、警察などを行ったものは何ですか。
- 問20 1274年と1281年の2度にわたって、元（モンゴル）が九州北部に攻めてきた出来事を何といいますか。
- 問21 源頼朝の弟で、源氏の軍を率いて平氏を西国に追いつめ、壇ノ浦でほろぼした人物はだれですか。
- 問22 中世の時代に、各地で「定期市」が作られるようになったきっかけは何ですか。
- 問23 3代将軍の足利義満が、明（中国）との間で勘合貿易を行った主な目的は何ですか。
- 問24 鎌倉幕府がつくった「御成敗式目」は、何をとおこなうときの基準として定められた法律ですか。
- 問25 平家物語は、どのような人たちによって人々に語り伝えられましたか。
- 問26 東大寺南大門にあり、鎌倉時代の力強い文化を代表する彫刻の名前は何ですか。